

昨年度のご寄付のお礼と活動紹介



2019年度の「寄付キャンペーン」におきまして総額1,737,000円のご寄付を頂きました。心よりお礼申し上げます。寄付金は患者会の活動支援に使用させて頂きました。その成果の一部を紹介させて頂きます。今年度もアレルギーっ子とその家族のために、ご寄付ならびに私どもの活動のご支援をどうぞよろしくお願ひします。

患者会の設立支援【へきなんアレルギーの会】

子どものアレルギーで悩んだり、相談したり、情報を共有しあつたりしたい!そんな母たちの集まりから、会が立ち上りました。アレルギーについて、まだまだ認知・理解されていないことは多いです。子ども達が、元気に毎日を過ごせる様に!と、活動を開始しました。月に一回の定例会で情報交換をする他、アレルギー支援ネットワークさんのサポートにより園や学校でのアレルギーに関して教育長と給食担当の方と面談をし、アレルギーへの理解と協力を得ることが出来ました。令和2年1月26日には『アレルギーっ子の災害対策』と題して講座を開催し、講師の方々から各分野でのアレルギーを交えた内容で講演していただき、自助の大切さを学びました。また、「会を支えるリーダーのスキルアップ支援」を活用して、「アレルギー大学」を受講し、正確で新しい知識と情報を得て、会の皆さんで共有しています。今後も、色々な事にアンテナを立てて積極的に活動していくたいと思っています。



【ひだつ子アレルギーの会】 設立支援と地域の専門医の協力により『ひだつ子アレルギーの会』を発足することができました。おしゃべり会では、入学入園をテーマにアレルギー支援ネットワークの方からお話し頂きました。各自で治療や育児に奮闘していた参加者が悩みを共有したり、参加してくださった専門医の先生に質問する時間も持てました。現在はコロナ禍で対面の活動を控えていますが、オンラインならではのメリットを生かし、遠方のため出向くことが難しい交流会にZoomを利用して参加しています。なかには、患者会初参加がZoom交流会だという方も何名かいました。また、アレルギー大学の講義がオンラインで開催になったことで、飛騨地域に住む者としては参加のハードルが下がり、良い学びの機会になりました。これからも患者会が正しい情報に触れる窓口の一つになれるよう、皆さんに感謝の気持ちを忘れず、地域の活動に細く長く取り組んで行きたいと思います。



Zoomを使用しての交流会&勉強会

「伊藤浩明先生とお話しをしよう!!」



年度初めより、新型コロナウイルスへの感染予防のため、会場での交流会が開催できない状況が続いております。患者会の皆さんがあれらギーについて相談したり、情報の共有が出来ず、不安になっていくのではないか、独りで悩まれているのではないかと思い皆様から頂いたご寄付の一部を使用してZoomというオンライン会議アプリを利用してインターネット上の交流会の開催を始めました。また、



地域の患者会でもZoom交流会が開催できるようにアレルギー支援ネットワークがホスト役を担い、開催支援を実施しております。交流できる喜びに笑顔があふれています。オンライン交流会の良さを今後の活動に活かしていきたいと思います。引き続きご支援の程、よろしくお願ひいたします。

「アレルゲンを除去するとエネルギーが足りない?!」

会を支えるリーダーのスキルアップ支援

アレルギーの会を支えるリーダーのスキルアップを図るため、リーダーおよびリーダー候補についてアレルギー支援ネットワークが開催している「アレルギー大学」の資料代および材料費を皆様から頂いたご寄付の一部を使用して免除しております。

「アレルギー大学」についてはアレルギー支援ネットワークHPをご覧ください。

※「アレルギー大学」は、本法人が行う事業の名称です。「学校教育法」により行う「大学」ではありません。



【HP】<https://www.alle-net.com/>